

## 令和5年度 神戸市政策会議 概要

開催日時	2023年8月30日（水）9時00分～9時30分
出席者	市長、副市長、市長室長、企画調整局長、企画調整局副局長、企画調整局政策課長、行財政局長、行財政局財務課長、教育委員会事務局局長兼教育次長、教育次長、教育委員会事務局学校教育部部长（児童生徒担当）、教育委員会事務局学校教育部部长児童生徒課長
議題	不登校支援の充実について
提案概要	<p>○本市の不登校児童生徒の状況について、全国的な増加傾向と同様に年々増加し続けており、令和3年度は小学校で966名、中学校で2,008名の計2,974名となっている。</p> <p>○有識者等で構成する検討委員会での議論や、令和5年3月に文部科学省から示された「不登校対策（COCOLOプラン）」も踏まえ、同年7月に「不登校支援の充実に向けた基本方針」を策定。</p> <p>&lt;基本的な考え方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・登校のみを目標とするのではなく</li><li>・すべての児童生徒に多様な学びの場を確保</li><li>・児童生徒の意思を尊重しつつきめ細やかに支援</li></ul> <p>⇒児童生徒が自らの進路を主体的に捉え、社会的に自立できることを目指す。</p> <p>○不登校児童生徒の状況は一人ひとり異なっており、個々の不登校の状況に応じて多様な教育機会を提供する必要がある。</p> <p>○不登校児童生徒への支援の充実のため、「不登校特例校（学びの多様な学校）」の設置等における方向性について下記を議論。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自校への登校が難しい生徒を対象とする予定</li><li>・独自の教育課程を編成（授業数は通常より約2割減の見込み）</li><li>・国は「5年後までに全ての都道府県や政令指定都市に設置」し、「将来的には全国で300校設置を目指す」としている</li></ul>

<p>会議結果 (主な意見 等を含む)</p>	<p>不登校特例校（学びの多様化学校）の設置等について、基本的な方向性は了。次年度予算の編成に向けて継続して議論を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・不登校特例校（学びの多様化学校）における設置場所については、空き教室の活用も含めて検討が必要。</li><li>・不登校の要因や背景は一人ひとり異なり、各家庭で希望する選択肢が幅広くなっていくのではないかと考えられる。</li><li>・引き続き、児童生徒や保護者が必要な支援を受けられる体系を整えていく必要がある。</li></ul>
---------------------------------	--